



## 9. 会の運営



[平成9年（1997年）～]

### 1. 任意団体「情報ボランティアの会（八王子）」の組織・運営

(1) 平成9年9月に発足した任意団体の情報ボランティアの会（八王子）は、平成12年から平成15年にかけて会則および役員選任などの規則を制定した。

会則第2条に定める会の目的は、次のとおり。

本会は、八王子ならびに周辺地域の市民を主たる対象とし、インターネットを始めとするパソコン等による情報化に取り組もうとする市民を、ボランティアを通じて支援し、豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする。

第3条で、活動内容を規定。主な内容は次のとおり。

- ① 市民の情報スキル向上のための「市民講座」の実施。
- ② インターネットで市民のスキルアップとネットワークづくりの支援
- ③ 進展する情報技術の内容と実情を市民へ紹介、啓蒙活動を展開。
- ④ 公的機関・業界・他のボランティアグループとの連携・協働による活動。
- ⑤ 会員のスキルアップを目指した定期的な勉強会の実施



(2) 代表、会計、事務局長により役員会を構成。具体的運営にあたっては、運営委員会を設置し、各種の活動を行ってきた。また、多くの会員が参加する例会も開催した。会計年度は毎年4月1日～翌年3月31日とし、総会を年1回開催。

(3) 平成27年4月、情報ボランティアの会（八王子）は、NPO法人としての「特定非営利活動法人情報ボランティアの会・八王子」と、情報技術により障害者を支援する任意団体の「情報ボランティア障害者支援の会」に分かれた。これは、それぞれの機能と役割を一層発揮し、活動をすすめていくためのものであった。

これに伴い、これまでの任意団体の「情報ボランティアの会（八王子）」は、平成27年6月27日の総会をもって解散した。

### 2. 「NPO法人情報ボランティアの会・八王子」の組織・運営

(1) 「特定非営利活動法人情報ボランティアの会・八王子」へ移行するため、設立総会（出席者24名）を平成26年12月23日に開催した。平成27年1月に東京都に申請、同年4月20日に認証され、4月27日に法務局に法人登記した。

定款第3条で定める目的は次のとおり。

この法人は、八王子ならびに周辺地域の一般市民及び市民団体を主たる対象とし、情報通信技術の利用とその普及に努めることで、豊かな市民生活の実現及び地域社会の問題解決に寄与することを目的とする。

第4条で、「特定非営利活動の種類」、第5条で具体的な「事業の種類」を定めている。(当会ホームページの「定款」参照。)

(2) 総会で役員である理事(20名以内)・監事(2名以内))を選任し、理事会で会を代表する理事長、副理事長を選任する。理事会では会の基本事項を検討する。具体的な活動は各専門部会で行うが、各専門部会の協力・調整と情報の共有を図り、全体的に活動を推進するため専門部会運営委員会を設けている。

会計年度は4月1日～翌年3月31日。事業年度終了後2か月以内に通常総会を開催。その結果を翌月(6月)内に主務官庁である東京都に報告している。定款の変更や代表者の変更等は法務局への登記事項である。

(3) 定款、理事会で定めた規則、規程

定款、これまで理事会で定めた会の運営にかかる規則、規程は次のとおり。

定款・規則・規程	制定日
・定款	平成26年12月23日設立総会で制定。 東京都の認証を得、法務局に登記
・会費規程	平成28年5月28日総会決定
・講座の謝金(費用弁償)に関する申し合わせ	平成28年5月15日理事会で制定、 同年5月28日の総会に報告
・理事会の業務に関する規程(役員の選任等)	平成28年5月15日理事会で制定、 同年5月28日の総会に報告
・定款の変更(貸借対照表のホームページへの掲載)	平成30年5月27日総会決定。東京都に定款変更の認証を得る。
・特別会員・学生会員に関する規則	平成30年9月16日理事会で制定 平成31年5月26日の総会に報告

(4) 専門部会運営委員会

専門部会の代表責任者が出席する専門部会運営委員会は、原則毎月第1週日曜日に開催して

いる。また多くの会員が参加し検討する拡大専門部会運営委員会も開催している。

平成 29 年 5 月現在の専門部会は次のとおり

- ・何でも相談会 ・市民講座 ・生涯学習センター講座 ・恩方パソコン講座
- ・女性講座 Let's ・外国人支援 ・Web 広報 ・タブレット学習支援プロジェクト
- ・日曜講座プロジェクト ・PC カフェ ・20 周年記念プロジェクト ・総務

### 3. 会員の推移

(データの出典：会計、総会資料)

年度	会員数	備考	
平成 9 年度 (1997 年度)	1 1 名	平成 9 年 9 月発足時	
1 0 年度 (1998 年度)	1 0 数名		
1 1 年度 (1999 年度)	同上		
1 2 年度 (2000 年度)	1 6 名		
1 3 年度 (2001 年度)	4 4 名		
1 4 年度 (2002 年度)	5 9 名		
1 5 年度 (2003 年度)	6 4 名		
1 6 年度 (2004 年度)	7 6 名		
1 7 年度 (2005 年度)	6 7 名		
1 8 年度 (2006 年度)	7 4 名		
1 9 年度 (2007 年度)	8 7 名		
2 0 年度 (2008 年度)	8 7 名		
2 1 年度 (2009 年度)	8 6 名		
2 2 年度 (2010 年度)	8 4 名		
2 3 年度 (2011 年度)	8 7 名		
2 4 年度 (2012 年度)	8 5 名		
2 5 年度 (2013 年度)	8 1 名		
2 6 年度 (2014 年度)	8 0 名		
2 7 年度 (2015 年度)	7 2 名 (注 1)		(注 1) 解散時の任意団体の会員数
2 8 年度 (2016 年度)	5 6 名 (注 2)		(注 2) NPO 法人情報ボランティアの会・八王子の会員数
2 9 年度 (2017 年度)	5 1 名 (注 2)		

### 4. 代表者

期 間	代表者等
平成 9～11 年度 (1997～1999)	代表 矢沢 雅彦      事務局長 豊島 直人
平成 12～14 年度 (2000～2002)	代表 佐藤 敏行      事務局長 豊島 直人

期 間	代表者等
平成 15～17 年度 (2003～2005)	代表 池宮城 直美    事務局長 豊島 直人
平成 18～19 年度 (2006～2007)	共同代表 千種 康民    共同代表 中島 重則 共同代表 近藤 敦
平成 20～23 年度 (2008～2011)	共同代表 千種 康民    共同代表 中島 重徳
平成 24 年度 (2012)	共同代表 千種 康民    共同代表 中島 重徳 共同代表 宮崎 周一
平成 25～26 年度 (2013～2014)	共同代表 千種 康民    共同代表 宮崎 周一
平成 27～29 年度 (2015～2017)	理事長 千種 康民    副理事長 宮崎 周一 (平成 27 年 4 月に NPO 法人発足) (代表権を理事長、副理事長ともに有する)

## 5. 総務での具体的な業務

総務部会では、各種行事、日常的な総務事項を担当し、会の運営を支えている。

### (1) 通常総会（年に1回）

#### ① 総会のための会場の確保（予約）

総会の候補日を決めて申し込み、部屋の抽選結果をみて確定する。

#### ② 受付と会費の集金（最近では会の銀行口座に振り込む会員が、増加した）

#### ③ 当日の出席者数と委任状の数から当日の会の成立の可否を報告。



### (2) スマホ・タブレット・パソコン祭り（年に1回）

#### ① 受付と案内：ミニ講座の時の整理券を渡す。入場の際に講座の資料を渡す。

### (3) 何でも相談会（月2回 第1日曜日と第3日曜日の午後）

#### ① 受付で当日の参加者に参加費として500円（主に部屋代）を徴収。

相談手帳を渡して毎回チェック。参加が8回になると9回目は無料となる特典を実施している。

#### ② 部屋の確保

1年を通して相談会の部屋を確保する。抽選申し込みをし、当選結果によって部屋が決定。（落選することが多いので、部屋の確保が大変である）

### (4) その他の業務

#### ① 全体的な会の行事の際に生じる資料の印刷。

#### ② 総務の仕事は見えないことが多くあり、仕事を分業化することにより、うまく運営している。

## 6. 会の会計業務

日常の会計業務と予算・決算業務を担当。会計担当理事が各専門部会の会計担当者と連携し、執行している。

## 7. 会の公式ウェブサイト

### (1) 会の公式ウェブサイトの始まり（平成12年～平成14年）

平成13年8月に、一般市民に向けた会の広報や、会員の情報共有などを目的に会のホームページ（HP）を開設した。八王子インターネット研究会（HIUG）のご厚意により、無料でHIUGのサーバに場所を借りて実現したものである。

そこに至るまでに、平成12年頃からHPの開設が会の活動目標の一つとして挙げられ、平成13年4月には、HP開設を主目的にプロジェクト「情報部会」が発足した。情報部会は、平成12年末頃からの新入会員の急増を受け、多くの会員の総意と創意を結集すべく、特定の会員に任せきりにしないオープンな形で運営された。それにより、HPの目的の確認や、コンテンツの企画、HP制作・検証作業、更新・メンテナンスなどを効率よく進めることができた。技術に詳しい会員もおり、当時としては高い水準の初期HPを数カ月で公開できた。平成13年末には、アクセスカウンタが2000に届き、また「情報ボランティア」でGoogle検索すると上から5件目となった。

### (2) 公式ウェブサイトとしての発展（平成14年～平成25年）

上記のように無料でHIUGのサーバに場所を借りて会の初期HPを開設したが、早々に会の自主性を損なう問題も出てきた。そこで、独自ドメイン（ivh-jp.org）を取得し、海外の格安レンタルサーバを借り、平成14年9月に会の公式ウェブサイトを持つことができた。その後、平成18年7月に、海外のレンタルサーバから国内の優良なレンタルサーバ（さくらインターネット）に移転した。



その後、多くの会員の尽力により、ウェブページの手直しや更新などが地道に続けられた。

(3) 公式ウェブサイトとしての大幅なリニューアル。(平成 24 年～25 年)

長年にわたり運用されてきた公式ウェブサイトも懸案事項が蓄積してきたため、大幅な再構築の必要が認識され、平成 24 年度にはリニューアルチームのプロジェクトが発足した。平成 24 年 4 月から平成 25 年 5 月にかけて、見直し課題の洗い出し、再構築の方針決定、レンタルサーバ(さくら)の契約更新、WordPress によるウェブサイト構築作業、コンテンツなどの精査、移行作業、などのリニューアル作業が精力的に進められた。平成 25 年 5 月に会員への説明会が行われ、新しい公式ウェブサイトの運用が開始された。これにより、コンテンツの更新やメンテナンスに会員が参加しやすく、保守性のよいウェブサイトを実現できた。現代的な情報通信技術に見合う公式ウェブサイトを持つことができ、現在に至っている。

会が HP を持った効果は大きかった。市民講座など各活動の紹介・参加案内・諸資料、会員募集などを HP に置くことで、IVH がどのようなボランティア団体か広報でき、HP を見て入会する会員もいる。また、HP の活用は、会の様々な活動の活性化につながり、会の発展に大いに寄与した。最初の時期から始まった月ごとの「活動記録」も、自分たちの歩んだ足跡を残す記録として今日まで大切に継承されてきた。

